

今号の作業

マフラーを組み立てる③



今号では、マシンの左側面上側に装着されるエキゾーストマフラー・1番にマフラープロテクターを取り付け、仮組みを行う。細かいパーツが多く提供されるので、無くさないよう注意しよう。

今号のパーツ



- ①エキゾーストマフラー1番・内側×1
- ②エキゾーストマフラー1番・外側×1
- ③イグニッションキー×1
- ④キーホルダー×1
- ⑤マフラープロテクター左×1
- ⑥インシュレーターA×1
- ⑦インシュレーターB×1
- ⑧ビス(Pタイプ/2.3×5mm)×5(※1本は予備)
- ⑨ビス(Gタイプ/2.0×5mm・タッピング)×2(※1本は予備)
- ⑩ビス(Bタイプ/2.0×5mm)×2(※1本は予備)
- ⑪ビス(Sタイプ/2.3×5mm・ワッシャー付き)×3(※1本は予備)

⑨⑩は今回は使用しないので、大切に保管しておこう。

使用する道具

- ・+(プラス)ドライバー(1番)

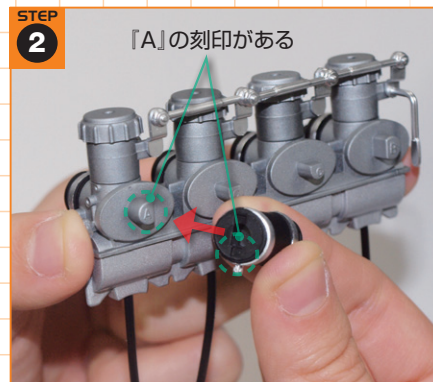
※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

用意するもの

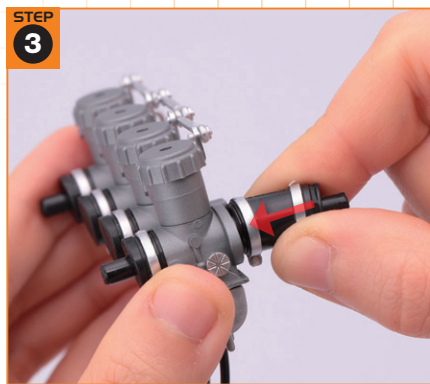
- ・マスキングテープ(セロハンテープでも代用可)
- ・キャブレター(15号で組み立てたもの)



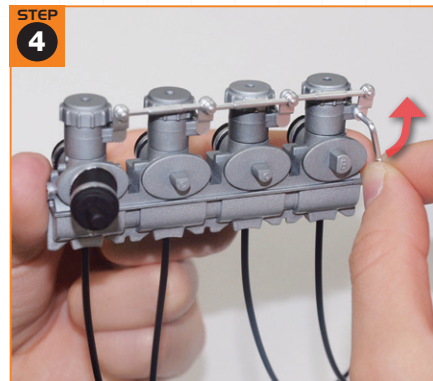
⑥インシュレーターAと⑦インシュレーターBの形状を確認しよう。インシュレーターAには「A」、インシュレーターBには「B」の文字が刻印されている。また、D形の穴の大きさも微妙に異なるので間違えないように注意! なお、数字の刻印はパーツ製造上の管理番号なので、組み立てには関係ない。



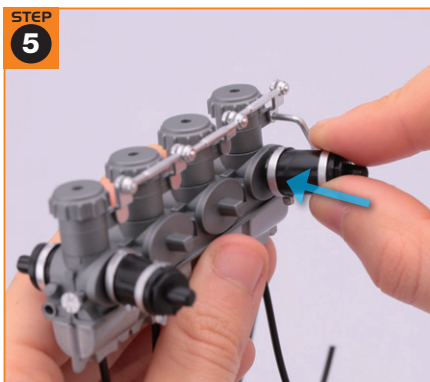
前号で組み立てたキャブレターを留意しよう。コネクティングチューブを取り付けた面の裏側に並ぶ「D字形のピン」のうち、一番左端のピン(先端に「A」の刻印がある)にインシュレーターAをセットする。



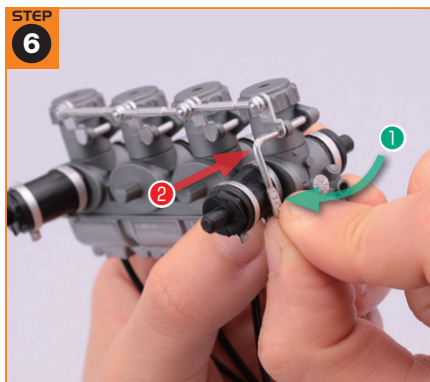
インシュレーターAの穴をピンに対して真っすぐ押し込む。パーツは外側に曲がった形ではめ込まれるが、それで大丈夫。



13号の工程⑬で、軽く押し込んでおいた「チョークレバーC」を少しだけ引き出し、ゆっくりと外側に開く。細くて破損しやすいので、慎重に作業しよう。



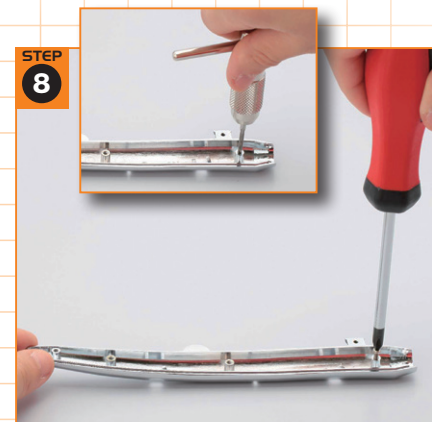
インシュレーターBを、右端のピン(先端に「B」の刻印がある)に差し込む。ピンの形状と穴の形状を合わせて押し込むと、③と同様にパーツは外側に曲がった形ではめ込まれる。



インシュレーターBを確実にめ込んだら、チョークレバーCをインシュレーターBに当たるまで戻し(①)、次に軸部分をゆっくりと押し込む(②)。



①エキゾーストマフラー1番・内側と②エキゾーストマフラー1番・外側、⑤マフラープロテクター左をそれぞれ裏返して並べてみよう。数字のほかに「C」の刻印があるので、それが1番マフラー用品部の目印になっている。



エキゾーストマフラー1番・外側を裏返して平らな台の上に置き、1番のプラスドライバーと⑧ビス(Pタイプ/2.3×5mm)を使って、4本のポストに開けられたビス穴にタップを立てる(4号参照)。なお、2.3mm中タップ&タップホルダーを使えば、簡単にタップを立てられる。



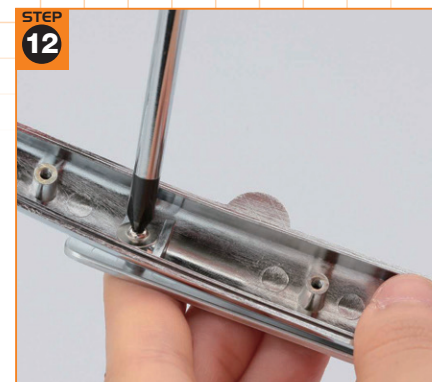
マフラープロテクター左をエキゾーストマフラー1番・外側にセットする。マフラープロテクターの裏側には、2本のポストと1本の突起があるので、それをエキゾーストマフラー1番・外側の穴位置に合わせる。



穴とポスト&突起は、反対向きには付けられないよう配慮されている。位置を合わせたら、真すぐに押し込む。

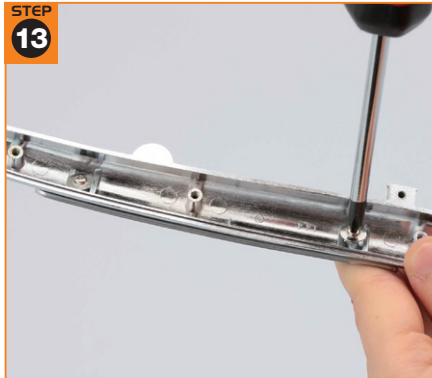


マフラープロテクターを押し込んだら、エキゾーストマフラーを裏返す。すると、写真で示した位置にポストが貫通しているので、⑩ビス(Sタイプ/2.3×5mm・ワッシャー付き)をビス穴にセットする。



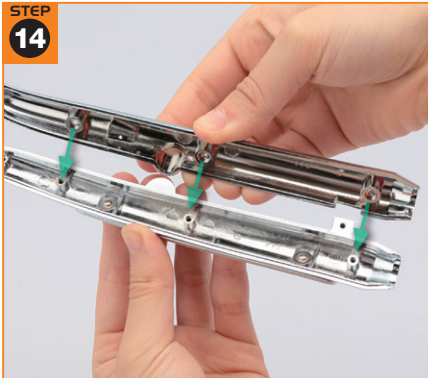
1番のプラスドライバーを使い、Sタイプのビスをねじ込む。このビスにはワッシャー(薄い円形の板)が組み付けられており、このワッシャーが左右のリブ(補強用の縦板部分)に引っ掛かり、マフラープロテクターが固定される。

STEP
13



後方のリブ部分に突き出したポストにもSタイプのビスをセットし、1番のプラスドライバーを使ってねじ込む。

STEP
14



次にエキゾーストマフラー1番・内側を用意し、取り付け位置の確認を行う。エキゾーストマフラー1番・内側には、3カ所のポストが用意されているので、そこにビス穴を合わせる。

STEP
15



エキゾーストマフラー1番・内側のポストは、外側のポストがはまるよう「リング状の突起」が設けられているので、その内側にエキゾーストマフラー1番・外側のポストをはめ込む。

STEP
16



マスキングテープを用意し、エキゾーストマフラーが離れてしまわないよう軽く巻き付けて仮組みする。セロハンテープで代用するときは、粘着力を弱めてから使うといいだろう。

STEP
17



これでエキゾーストマフラー1番の仮組みは完了だ。次の作業に備えて大切に保管しておこう。

STEP
18



③イグニッションキーと④キーホルダーを用意しよう。キーホルダーの片面は「十字形」になっており、中心部には長方形の穴が開けられている。この穴にイグニッションキーを差し込む。写真の位置が差し込む深さの目安だ。

今号の完成



これで今号の作業は完了だ。キャブレターにはインシュレーターが取り付けられ、完成まであと一歩に迫った。また、今回提供するイグニッションキーは、実車の特徴である「へそキー」を再現したもので、電子エフェクトの始動キーとしても使用する。組み立てたパーツは破損しないよう、大切に保管しておこう。